

# 議 会 だ よ り

No.91  
平成23年4月14日

## 松 崎



ひじき刈り（4月4日 岩地）

### 第1回 定例会（3月8日～3月15日）

- ・平成23年度 当初予算 ..... 2
- ・平成22年度 補正予算 ..... 7
- ・町政を問う 一般質問に7議員 ..... 9

### 第1回 臨時会（1月31日）

- ・臨時会 他 ..... 16

【松崎の四季】



一般会計

「平成の花とロマンのふる里づくり」の推進を

平成23年度予算は、前年度比500万円、0.1%増の歳入歳出総額33億9千万円とした。

行財政改革による財政の健全化を維持するとともに、町民福祉の向上、安心・安全な住民生活の維持、そして町長の掲げる「平成の花とロマンのふる里づくり」の積極的な推進に強く期待するものである。

(賛成多数=可決)

歳入

交付税の状況は

問 交付税が前年比5千万円増えているが追加補

正の見込みは。

総務課長 国予算は平成

20年度から4年連続で増

となり、22年度から23年

度は3%ほど増加。わが

町の交付状況を見ていく

と国に連動して上がり、

21年度1億3千500万円、

22年度2億3千200万円と

大幅増となった。年度途

中の補正はよほど大きい

事業などが無ければ、積

立に回っていく状況が続

いている。

交付税の測定単位であ

る国勢調査人口が、8千

104人から7千642人と462人

減となり、国の予算動向

を注視して計上していく。

問 保育料は児童数が増えているのに100万円は

ど増えているが。

窓口税務課長 所得階層

の高い方が増えている傾

向がある。

問 町税を0.8%減と計上

しているが、確定申告な

どの状況からどのような

見込まれるか。

窓口税務課長 確定申告

による納付が減っている

状況で、景気低迷の中で

個人の所得は伸びる要素

はない。平成23年度から

全事業所（従業員3名以

上）の特別徴収が実施さ

れるため、徴収率が1%

から1.5%ほどの伸びが期

待される。

たばこ税は昨年の10月

1日から税率が改正され、

本数は減るが121・8%の

伸びを見込んでいる。



**【合併処理浄化槽とは】**

し尿だけではなく、生活雑排水もあわせて処理できる浄化槽を「合併処理浄化槽」という。し尿のみを処理する「単独処理浄化槽」に比べ水質保全効果に優れている。

町では合併処理浄化槽を設置する方を対象に、設置費用の一部の補助事業を行っている。補助金額は、人槽の大きさ、設置内容により異なる。

**【補助金額】**

人 槽	新規設置	設置替え
5 人 槽	332 千円	414 千円
7 人 槽	414 千円	516 千円
10 人 槽	548 千円	684 千円

**問** 延納利息が大幅増となっているが。  
**産業建設課長** 昨年度、議会で指摘のあった桜田沢川改良工事損害求償金の15年度～21年度分192万7千円を計上した。  
**問** 新築住宅は合併処理浄化槽しか設置できなく、当たり前のことについては補助金が削減される可能性が高いので、既存の単独浄化槽から合併処理浄化槽への切り替えを進めるべきではないか。  
**生活環境課長** 平成23年

度は28基の補助金を予定している。毎年1月に3月までに完成するものを精査して申請している。町が補助した金額の3分の1ずつを国と県が補助する。  
**問** 単独処理浄化槽から合併処理浄化槽への設置替えは県と町で割増の補助をして促進している。  
**松崎町は公共下水道が一部を除き整備されていないため、これに代わるものとして補助制度があれば利用していく。**

**歳出**

**津波対策進めたい**

**問** 火災警報器の給付事業は21年度で終了したと思っていたが、65歳以上の未設置世帯全部に早く付けるべきでないか。  
**健康福祉課長** 21年度に国の特例交付金で実施したが、利用者が少なかつたため、今回は高齢者対策として要綱を設置し町単事業で100%目指して実施していく。

**問** 水産物供給基盤機能保全計画策定業務委託560万円の内容は。  
**産業建設課長** 漁港施設の長寿命化のための計画を国県の補助を受けて作成する。雲見漁港が対象で、他の漁港は漁船数などの関係で対象外となる。  
**問** 海水浴場監視業務をライフセーバーに委託する真意は。  
**企画観光課長** 海水浴場に関する条例で4力所が指定されている。町長は

安全安心を確保しなければならぬ責務がある。これまでの観光協会やシルバー人材センターなどに委託していたが、昨年、事案があり安全安心をどこまで保障できるか不安になった。また、近隣市町でもライフセーバーを設置している状況があるので導入することに決めた。  
**問** 23年度からの共立湊病院の赤字は内部留保資金で手当てすることではないか。  
**町長** 医療過疎の中で振興協会の功績は非常に大きかったと思う。指定管理者の引き継ぎがないうまく出来なかったかと思う。紆余曲折があり4月1日から静岡メデイカルライアンスが、来年5月1日から下田メデイカルライアンスで行くということが首長会議で

決定した。50床1病棟でスタートすることになり、赤字は組合で処理してもらわなければならないと思う。  
**問** 海洋センター大規模改修工事の内容と発注方法は。  
**教育委員会事務局長** 上屋の鉄骨塗装とシートの取替え・更衣室の屋根取替え・暖房機と換気扇取替で、工事費5千万円を予定し入札で行う。  
**問** 松崎地区浸水対策工事2千万円の内容は。  
**産業建設課長** 昨年の調査に基づいたもので、中瀬駐車場から三省社までの水路を改修する。

**問** 那賀川水系河口周辺治水対策委員会委員報酬と、治水対策調査業務委託の関連は。

**産業建設課長** 今回の東北関東大地震で大変な事態となったわけで、当町でも津波対策を十分に進めていきたい。そのため、河口周辺対策委員会は年4回を予定し、津波対策を推進するための資料作成を委託する。

**町長** テレビで津波が押し寄せてくる状況を何回も見て、松崎にとつて水門をつくるのが一番大事だと思った。今までの経過があるが、皆さんの了解を得てつくりたい。

**問** 防災ラジオの全世帯配布の予定は。

**総務課長** 防災ラジオはAM・FMに加えて町の同報無線が受信出来るもので、製造業者が1社で1万円する。議会でも再三導入することにご指摘をいただいているが、今回40台購入して自主防会長を中心に試験的に速や

かに配布したい。

**問** 市町對抗駅伝の補助金が80万円計上されているが他と比べて低いように感じるが。

**教育委員会事務局長** 練習の経費・ユニホーム代であるとか大会に参加するための準備を含めた活動費で、バス代などは別で合計100万円くらいになる。

**問** 町が独自で行う新しい事業は。

**総務課長** 住宅リフォーム・農業後継者に対する関係など、今まで議会の中で議論を重ねてきたものについて取り入れていこうと予算編成に臨んだ。

**問** 地域力を高めるにはコミュニティに力を入れるべきと思うが。

**町長** 今回の津波の事でも痛切に感じたが、コミュニティに力が無いと何も立ち上がれないということがあるので充実して行きたい。

**問** 地域おこし協力隊で350万円ほど計上されているが、何をやるのか見えてこないが。

**企画観光課長** 総務省の交付金でまかなわれる事業で、最高3年間継続できるもので、定住していただければと期待する。

活動内容は棚田の保全活動と地域おこしへの支援で、都市との交流事業をグリーンツーリズムと調整をしながら行う。

**問** 県単道路整備事業の内容は。

**産業建設課長** 工事中の峰地区の桑原バス停付近の拡幅、新規に八木山浄水場入口付近の拡幅と小杉原集落入口付近の拡幅工事費6千万円の1割が負担金となる。

**問** 町道山口雲見線のバイパス工事の現状と見通しは。

**産業建設課長** 入口と終点部を重点的に交渉を進めている。進捗率は予算や相続の問題などで進展していない。



津波対策で設置された石部水門（津波想定6m）

### 反対討論

第一に町民生活や福祉に光を当てるべき大事な直面と思うが、これはと言つようなものが見当たらない。

第二に物件費や工事費などは非常に小さな規模で、これでは地域経済の振興は図れない。

国県に対し、しっかりと物を言つて、自治体の置かれている現状を打開する構えを持つことが不十分であり反対する。

### 賛成討論

静岡県で一番小さく自主財源が非常に乏しい自治体であるが、重点施策では海水浴場のライフセーバー・太陽光発電補助・住宅リフォーム補助・予防接種対応など、前年対比5千500万円増とそれなりに努力の跡が見られる。

今後は予算が確実に住民に反映されるような執行を願い賛成する。

# 平成23年度特別会計当初予算

## 国民健康保険会計

医療費は増加傾向で、療養給付費（一般）は前年度見込み額の4.2%増を見込んだ。

予算は、12億2千95万円と前年度より7千216万円増となった。

**問** 出産育児一時金の改正があるのか。

**健康福祉課長** 42万円支給されているが、平成22年度までとなつていたため恒久化への改正が予定されている。

**問** 健診率が下がっている対策は。

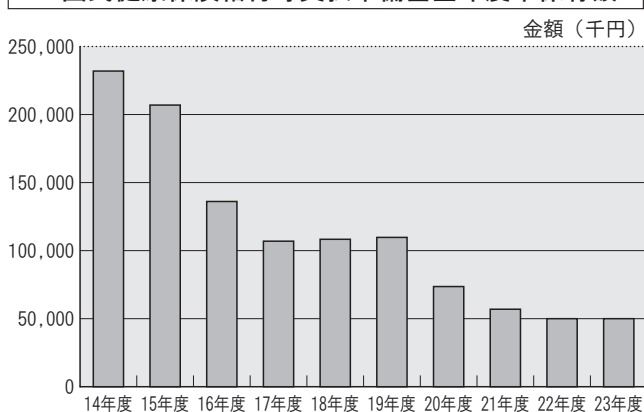
**健康福祉課長** 医師会の協力を得て、土日を入れたり受付を2部制にして待ち時間の短縮を図つた。

り、各地区の受診率を公表した。来年度は疾病の状況などを周知して健康に対する意識を高めたい。

**問** 高額療養費の動向は。

**健康福祉課長** 徐々に上がつてきている。3月から12月の100万円を超えるレセプトが一般は21年度で45件（平均199万5千円）、

■ 国民健康保険給付等支払準備基金年度末保有額



	14年度	15年度	16年度	17年度	18年度
積立額	26	3	5	6	1,200
取崩額	2,379	25,000	70,000	30,000	0
保有額	231,568	206,571	136,576	106,582	107,782

	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度
積立額	1,900	1,957	2,100	1,800	18
取崩額	0	38,000	18,954	8,448	1
保有額	109,682	73,639	56,785	50,137	50,154

※22・23年度においては、見込数値。（単位：千円）

22年度46件（平均179万4千円）、退職は21年度1件（131万1千円）、22年度2件（平均181万円）となっている。

**問** 基金の推移は。

**健康福祉課長** 14年度に2億3千万円あったものが23年度で5千万円となる。17年度に税率改正してから2年間は基金を使用しなかった。税率改正の時期にきている。

（賛成全員可決）

## 後期高齢者医療会計

歳入は75歳以上の被保険者から徴収した保険料や一般会計からの繰入金などで、歳出のほとんどは静岡県後期高齢者広域連合への納付金となる。

予算は、1億515万1千円を計上した。

**問** 軽減者の状況は。

**健康福祉課長** 22年度で被保険者1千659人のうち均等割額の軽減者が1千45人（63%）あった。

（賛成全員可決）

## 介護保険会計

平成21年度から平成23年度までの第4期計画に基づき算定する。

予算は、8億4千983万2千円を計上した。

**問** 特定高齢者（生活機能が必要となる恐れのある虚弱者）の把握状況は。

**健康福祉課長** 65歳以上（全員）を対象にアンケートを実施して、健診や保健師の訪問指導などを実施する。

（賛成全員可決）

## 集落排水事業会計

◎岩地集落排水事業  
予算は、723万4千円を計上した。

（賛成全員可決）

◎石部集落排水事業  
予算は、585万9千円を計上した。

（賛成全員可決）

◎雲見集落排水事業

予算は、2千338万5千円を計上した。

（賛成全員可決）



介護予防教室



## 水道事業会計

使用料が減少していることから、給水収益を22年度決算見込みの99・2%で見込んだ。

資本的支出では、八木山導水管改良工事、宮内配水管改良工事、配水池2カ所の耐震診断などを実施する。

予算は事業収益1億6千125万7千円、事業費用1億4千579万円、純利益1千286万1千円とした。

**問** 温泉会計からの借り入れ金3千万円が10年償還で利率0.7%程度ということだが利率が低いのではないか。

**生活環境課長** 国債の利率が0.3%ほどで、起債の利息が1%以上となつていくことから判断した。

**問** 水道施設調査・測量業務委託の内容は。

**生活環境課長** 自動車教習所裏の柳原ポンプ場から岩地配水池への管路が古くなつているので改修

のための測量業務である。**問** 宮内の本管改良工事の内容は。

**生活環境課長** シェル石油のところから円通寺までの石綿配水管25mを改修する。

(賛成全員可決)

## 温泉事業会計

供給戸数は自家用320戸、営業用他36戸。

余剰資金を水道会計へ3千万円貸付け、国債を1億円購入する予定。

予算は事業収益6千580万7千円、事業費用6千236万8千円、純利益349万5千円とした。

**問** 施設の老朽化や地震などの対応に技術職員の必要性があるのでは。

**生活環境課長** 臨時職員で対応しているが、今後は技術職の育成も必要だと思う。

(賛成全員可決)

## まつざき荘会計

宿泊利用率52%、宿泊人員2万6千50人を目標とした。

予算は事業収益3億5千400万円、事業費用3億5千500万円、純利益347万2千円とした。

**問** 高い目標を設定した意気込みは。

**企画観光課長** 今回の地震でより厳しい船出になるが、振興公社ともども誘客対策を考えていく。

リピーター率が高いので新規開拓のために、市町村職員共済組合とのタイアップ事業を公立学校共済まで拡大、国民宿舎協会の契約会社からの誘客や地域の方がたの利用促進も図りながら目標に近づきたい。

**問** 当局と振興公社との意見のずれはないか。

**企画観光課長** 現場のずれがないように、出来るだけコミュニケーションを多くしてやっていきたい。

**問** 補てん財源からみると、3年ぐらいで行き詰まるが。

**副町長** 資金運用については、このままだと後3年ほどで行き詰まると内部では話し合いをしている。借金の返済8億円が一番の壁になつており、ここが解決できなければ多少経営状態が悪くなつても改善されない。経営を上向きにして1日でもつながつていくように努力する。



本管改良工事実施予定箇所（宮内）



まつざき荘への誘客対策を

一般会計  
補正第4号  
地域活性化交付金  
事業を予算計上



改修を予定している海洋センター

補正予算（第7号）は、歳入歳出に4千321万9千円を追加し、総額39億5千998万3千円とした。  
新たに地域活性化交付金対象事業として6千700万円を計上し、全て繰越明許となった。

**問** 法人税の増額の内訳は。

**答** 窓口税務課長 当初は前年の20%減でみたが、金融・自動車・建設などの經常収益が伸びたことにより1千万円増額した。

**問** 自立支援給付費が毎年大きな伸びをしているが内訳はどうか。今後の予想は。

**答** 健康福祉課長 身体障害者や知的障害者に係る分で、生活介護及び施設入所、西伊豆町田子の就労支援施設「ワークシヨツプマナ」などの伸びが大きい。人数的には生活介護が12人増、施設利用が9人減となる。22年度から1割の個人負担が住民税非課税世帯では免除となる。サービス内容が細かくなっており、利用増により1千400万円ほど増額した。

**問** 町有施設の振興公社への指定管理で、現在の入館状況から好転させることは大変厳しい。公益法人の改正が伴うなかでどのように検討したか。

**答** 企画観光課長 平成25年11月末までに一般法人か公益法人の選択を迫られている。公益事業が全体の50%以上必要だが、宿泊施設の伊豆まつぎ荘

はかなりのウエートを占めている。専門家のアドバイスを受けながら全体をまとめた公益法人に向けて作業を進めていく。

**問** 棚田展望台はどのようなものか。

**答** 企画観光課長 町道貫七線駐車場の棚田を見下ろせる位置に約25㎡の木製デッキ型を設置する。

**問** 海洋センターの改修設計にあたり何か特殊な部分はあったか。

**答** 教育委員会事務局長 腐食が激しいため屋根やつなぎ目などを含め交換すべきところを聞いた。暖房システムの改修、骨組みは大丈夫だがボルトは交換する。

**問** 実態の見えない建設会社が指名に入っているのは。

**答** 副町長 指名委員会（100万円以上の工事が該当）選考基準8項目を満たすので、客観的に判断している。

（賛成全員〓可決）

国民健康保険会計

補正予算（第3号）は、総額にそれぞれ351万3千円を追加し、12億3千417万3千円とした。

**問** 退職者医療費は人数が減つたのに増えたのは。健康福祉課長 全般的に増えていて、1件当たり千円ほど伸びている。

**問** 特定健診の受診率はどうか。

**答** 健康福祉課長 平成21年度が38・7%、22年度が36・6%と低い傾向にある。

（賛成全員〓可決）

老人保健会計

補正予算（第2号）は、総額からそれぞれ223万1千円を減額し、853万3千円とした。

（賛成全員〓可決）

### 後期高齢者医療会計

補正予算（第2号）は、総額からそれぞれ127万4千円を減額し、1億694万7千円とした。

**問** 保険料が減額となったのは。

**健康福祉課長** 特別徴収が71%を占め減額になっている。軽減者が970人から1千人に増えており、軽減対象世帯は全体の60%を占め増加傾向にある。

（賛成全員〓可決）

### 介護保険会計

補正予算（第2号）は、総額からそれぞれ983万2千円を減額し、8億1千9万5千円とした。

**問** 介護の傾向はどうか。

**健康福祉課長** 認定者は489人から501人に増えている。訪問介護（ホームヘルプサービス）が減って、通所介護（デイサービス）が伸びている。

**問** 特定入所者介護サー

ビスが減っているのは。  
**健康福祉課長** 非課税世帯の要介護者が介護施設などに入所した時の食費などのサービスで減少傾向である。

（賛成全員〓可決）

### 水道事業会計

給水収益の見込増や消費税の見込減などにより、当年度純利益が304万3千円増え2千395万7千円に改めた。

資本的支出は配水池耐震診断業務委託の入札や継続事業の江奈ポンプ場築造工事の変更がなかったことにより、建設改良費が123万7千円減額となる。

（賛成全員〓可決）

### 温泉事業会計

供給収益の減があったがポンプ電気料や人件費などの減により、当年度純利益が233万5千円増え655万7千円に改めた。

資金1億5万円を利付国庫債券（2年）で運用を予定していたが、利率の低下により定期預金とした。

（賛成全員〓可決）

### まつざき荘会計

事業収益は景気低迷などの影響により、宿泊利用者7千520人減らして2万1千980人としたことなどにより9千571万2千円減額となった。

事業費用は松崎町振興公社への管理委託費を5千251万4千円減額する。当年度純利益は2千405万9千円の赤字に改めた。

資本的支出の建設費借入金など6千290万円は損益勘定留保資金などで補てんした。

**問** 補正を出すに当たったの考えは。

**企画観光課長** 大幅なマインナスになったことを重く受け止めている。職員ともども頑張ってきたが、まだまだ考えられるところ

があると思う。町内調達を1%でも努力をしていただければとか、わずかな積み重ねで改善をしていくのかなと淡い期待をしているが抜本対策は難しい。

**問** 観光で食べていくには持続性のある専門のセクションが必要だが。  
**町長** いろいろ考えているので、指定管理が後3年あるから、その間に参考にしていきたい。

（賛成全員〓可決）



工事が完了した江奈ポンプ場

### 条例・その他

◎松崎町廃棄物処理施設周辺整備基金の設置、管理及び処分に関する条例の改正

基金4千189万2千円を、雲見地区ふれあいパーク整備事業に405万円を充当するため、3千784万2千円に改める。

（賛成全員〓可決）

◎松崎町道路線の認定

道路法第8条第2項の規定により、新たに2路線が町道に認定された。

中瀬4号線（松崎字中瀬・延長39・50m・幅員4.5〜6.5m）

民田1号線（伏倉字民田・延長164・10m・幅員3.6〜4.4m）

（賛成全員〓可決）

◎固定資産評価審査委員

任期満了となる高橋弘之氏（石部）の後任に山本和彦氏（道部）の同意を求められ、賛成全員で同意した。任期は平成26年5月13日までの3年間。



# 町政を問う



観光協会の今後に期待



渡辺 武議員

まつぎ荘の赤字脱却を

万全の策を期して望む

質問

松崎観光のシンボリック存在として船出した伊豆まつぎ荘が赤字経営に転じたことは、町の内外に大きなショックを与えている。返済金などを考慮すると一段と厳しい経営改善策を要すると思うが。

町長

18年度から3年ほどは稼働率65%を維持したが、21年度から下降に転じ欠損金を計上するに至り、22年度決算を間近に控え赤字は避けられない。建設に要する借入金は元金9億6千500万円、返済には毎年元金6千226万円、利息は22年度で1千638万円と巨額である。経営上重負担であり、新年度においては抜本的改善策を講じて積極的に努めて行く。

質問

理事会での徹底した経営理念を現場で実行させるべきである。提言であるが、役場近くにオーブ

ンした店で強く感じた雰囲気は、目的に向ってスタッフの気持ちが一つになつて接客にあたっている。これが素朴なもてなしとなつて、内外客の評判を得ている。

町として公社はもちろん、民間を含めて金のかからない徹底した経営理念の基本として「癒しの町」宣言を期待したい。

町長

対応を検討したい。

心配な観光協会

徹底した改善策を

質問

町観光振興にあたって、観光協会の実態が町補助金（運営費）に頼る苦しい運営に陥っている。民間に活力を与えるためにも、行政のてこ入れが必要と思うが。

町長

質問の趣旨は協会からの要望書から伺い知るところであるが、事務量な

ど考慮すると徹底した具体的改善策が見られない。今後に期待したい。

商工費減額の理由は

施設整備事業の完了

質問

商工費予算が前年対比7.9%減額となっている。

町長の意図する町づくりの姿勢が見られないが。

町長

要因は清掃センター跡地整備事業の終了1千300万円、棚田サミット助成400万円、美術館経費の見直し900万円の減額による。23年度において商工観光活性化策として住宅リフォーム助成、海水浴場の監視業務の強化費やジオパーク協議会の負担金など予算化している。

## 棚田は町の遺産

### 側面からの支援を



斉藤 重議員

#### 質問

棚田サミットで町の遺産として、大きな存在となった。最終日の4つの分科会のまとめでは、現状での保全是厳しいものがあると報告された。高橋村長も石部だけでは困難と訴えていたが、行政としてどの様に考えているか。

#### 町長

基本的には従来どおり、自主へ向けた指導・協力で側面からの支援と考えている。棚田保全委員会、石部地区、そして町との

関係の風通しを良くする事が最初のスタートと思っている。  
石部棚田の保全と活用を考えるワークショップも動き出してきたので、県・町・地元の皆さんと連携をとりながら、新しい組織作りが出来るもの考える。

めしの食える所に  
新しい組織の力で

#### 質問

棚田の原動力となる組織に、若い力の参加を求

め、県の進める山林整備事業に伴う、きのこ栽培など、棚田に留めず多くある田畑・未耕作地を有効利用し、既存のみかん園、さくら葉栽培との調和をとりながら、棚田で頑張る人たちがめしの食える村づくりを進める事が棚田保全につながると考えるが。

#### 町長

指摘のとおり、先を見据えて計画的に進める事が大切である。県も心配して、非農家参加型農村再生組織構築事業に当ってはめて活動を行っている。棚田事業拡大については、新たな構成組織の皆さんの努力に基づき支援する。

ぬくもりのある町に

見回り訪問を

#### 質問

悲惨な孤独死が多く報じられている。567人の独居生活者を抱える町として、実態調査を行い、安心を与えるための対応は

急務である。郵便、新聞配達員の協力も得ながら、行政として、定めた巡回的な見守り配備は出来ないか。

#### 町長

現在、緊急通報システム21軒、配食と給食関係32件を行っているが、少数限定である。役場保健師の見回り訪問が出来ないか担当課長と協議し、高齢者対策を真剣に考え、実施したい。

#### 質問

本町各地区において、民生委員・各リーダーの

下で、地区サロン教室が活発に行われ、50〜60人が集まるといふ。正に福祉の原点である。しかし、遠距離からの参加者も多く、現在は送迎をボランティア的にお願ひしているが、無理も生じる。行政として援助すべきだと考えるが。

#### 町長

目に見えない地域における活動に、頭の下がる思いである。娯楽などにも必要と思っているが、支援したい。



当町で開催された全国棚田サミット

# グリーンツーリズムの焦点は

## 横の連携が大事だ



稲葉 昭 宏 議員



温泉の活用を（9号源泉）

**質問**

町が発足させた「エコツーリズム検討会」、県が支援するふじのくに美しい邑（むら）の「地域おこし協力隊」、従来からの「グリーンツーリズム推進協議会」、そして新たに振興公社に委託した部門。これだけの多数のグリーンツーリズムの組織を行政はどう整理をし、成果を上げていくのか。

**町長**

町の中にもいろいろ壁があつて大変なので、各課で連携をとっていく。

**質問**

グリーンツーリズム協議会が発足し、21年度までに約1千80万円の補助をしているが、成果が上がらないのは外部団体に丸投げしているせいでは。  
**町長** 目に見えて形に残るものはないが、成果はそれなりにある。

**質問**

町内の現状は景気が低迷し最悪だ。観光が重点

施策のまちづくりには、

役場内に専門のセクションを設け職員を配置し、大いに才能を発揮させるべきでは。

**町長**

今回、地域おこし協力隊を公募するが、行政が後を支えていく。

### 共同湯で温泉の活用を

#### ぜひ検討したい

**質問**

温泉が余っているが、まつぎき荘を例にすると供給能力はどのくらいか。  
**生活環境課長** 毎分約1千500リットルあるので、まつぎき荘が2〜3つできても可能だ。

**質問**

温泉の有効活用をしないのは、町にとって大きな損失だ。町内に小さな共同湯を各地区につくれば、地域のコミュニケーションを深めたり高齢者の憩いの場になるのでは。

**町長**

ものすごく良いことを

言ってくれた。これを活用しない手はない。大いに検討していきたい。

**質問**

波止場・港というのは郷愁をそそのめるのか、自然と人が集まる場所だ。旧港の整備について、総合計画に観光交流館の建設が予定されているが。

**町長**

もし施設をつくるとすれば何か付加価値をつけて、他と異なつた特徴を出すことが必要と思う。しかし、水上オートバイなどの問題も多いので、その解決が先だ。

**質問**

石部の棚田は松崎の財産だ。地元の人たちだけに汗を流させるのではなく、全町的な視点から新しいシステムをつくり、官民一体となつて保全すべきでは。

**町長**

石部の棚田の反省は町内宣伝がへただったということだ。町が広く、うまくやっていくべきだ。



# 農業・観光・商工業の振興は

## 振興施策を予算計上



関 唯彦 議員

### 質問

農業・観光・商工業の振興対策は。

### 町長

観光は伊豆全体での誘客が効果的と考え、伊豆観光推進協議会、中伊豆・西伊豆観光連盟などによる広域活動を進める。商工業はロマンシール組合へ助成と23年度新たな施策として、住宅改修助成制度を進める。

### 質問

農業は新規就農者に対する就農奨励助成や耕作放棄地の解消を目的に農作業の効率化の向上を支援する。

農業・観光・商工業はそれぞれ別のところに事務所をもち横の連携がとれていない。1カ所（役場）に事務所を集め、それぞれの問題点や振興策を常時話し合い、行政と一丸になって未来に向かっていくべきではないか。

### 町長

全体でさまざまなことを決めていくのは、非常によいことだと思つていゝ。いろいろと考えてみたい。

## 町民の健康増進は

## 全国の事例を活用

### 質問

町民の健康増進をどう進めていくのか。

### 町長

40歳から高血圧症や肥満が多く、心疾患・脳血管疾患による死亡が多くなり、逆に健康診査の受診率が低下している。

生活習慣病を減らし、がん検診・特定健診の受診率を上げることが目標にする。また、元気な高齢者が要支援状態にならないために、脳機能アップ教室を開催する。

### 質問

長野県須坂市に保健補導員制度がある。栄養改善・血液検査・予防接種

### 健康福祉課長

知らなかった。全国でいろいろなことをやっているの、それを参考にこの町にあった健康増進活動を進めたい。

### 質問

健康先進地の情報を収集し、23年度からの松崎町健康増進計画に反映していくべきではないか。

### 町長

考えたい。



健康増進に努めよう（大腰筋体操教室）



美しい棚田の持続を



鈴木源一郎議員

## 棚田経理は明朗化せよ

### 限度はあるが援助する

#### 質問

町長は4月から全国棚田（千枚田）連絡協議会の会長になる予定だ。経理問題で揺らいだ足元を固めることが重要課題だ。オーナー会費など地元で管理する部分も、町が全面協力して公募した準公金だ。町当局がまずこの部分を含め、不明朗会計の実態の概要を正確にかむことが重要ではないか。その上、特別に町の監査をしていくべきではないか。

#### 町長

この不祥事に驚いた。松崎の町づくりマイナズな部分は大きい。平成21年度以降、棚田保全推進委員会は補助団体ではなく、オーナー会費でまかなえる任意団体になっている。オーナー会費分など町の監査はやっていないが、新聞報道される直前に石部の役員に来てもらい、そのような事実があることを聞いた経過がある。

#### 質問

マスコミには経理に600万円の不足があると報道され、棚田の会計報告では平成22年度繰越金が520万円あるとか、疑義のあることは役員に説明してもらおうことは出来るのではないか。

#### 副町長

任意団体だから限界はあるが、オーナー会費なども入っており、石部だけの問題ではない。きちんとする必要があるなどと伝え、やれることはやっているが、やれないこともある。

#### 質問

経理の明朗化と人事の刷新、棚田持続を一体の問題として現地の役員と話し合い、指導・援助を強めるべきだ。

#### 町長

これを契機に前に進んで行きたいと思っている。

### 効果大きい制度に

### より地元役に立てる

#### 質問

住宅の増改築を助成する住宅改修助成制度は、地元経済への波及効果が大きい。松崎町も平成23年度から実施の予定だが、資材の地元調達など、より地元効果が大きく、利用しやすい制度にするべきだと思うが。

#### 企画観光課長

一番新しい南伊豆町の例を参考に助成額を費用の20%、20万円を限度とした。ハウスメーカーの代理店は町内には見受けられないが、より地元業者に出し、使う資材も地元調達されるよう手立てをしていきたい。

#### 町長

この事業は1年だけではなく、何年か続けたい。

## 新港湾の活用策

### 賀茂地域で要望する



井上 定議員

**質問**

駿河湾フェリーの清水く土肥間の運航が苦戦している。これをチャンスとして、清水く松崎間の運航実現を目指し、松崎町経由の観光客の集客に近隣の西伊豆町・南伊豆町・下田市・河津町と共に考えていくことができるか。

**町長**

松崎港へのフェリー誘致について、これまでさまざまな機会を捉え伊豆

### 塩害対策について

#### 県に報告しつづく

**質問**

新港湾ができてから、江奈の釜の本地区で塩害が発生しているという声が聞かれる。どんな因果関係があるかよく調べてみる必要があるのではないか。

**町長**

気象庁の松崎アメダス観測地点の調査データでは、毎年12月から翌年の3月頃までが最も西風が強く吹き、最大瞬間風速22mが観測されている。調査は考えていない。管理する県にはその旨を報告しておきたい。

### 里山保全について

#### 支援をしつづく

**質問**

最近、近隣の町では森の健康診断として、荒れた森林を整備し、災害対策と環境改善を進め、新たなハイキングコース作りなど活動している所が多くなっている。当町としては里山の整備をどう考えているのか。

**町長**

町では毎年、計画的に町有林の間伐を進め、健全な森林の植生の改善に努めて多面的機能の保全に努めている。



強風時の松崎新港



# 今後のまちづくり

## 3人体制で推進



篠原健一議員



シイタケの菌打ち体験（田舎暮らし応援ツアー）

**質問** 分りにくいといわれる「平成の花とロマンのふる里づくり」について聞きたい。

グリーンツーリズムの進捗状況と、今後の見通しは。

**町長**

窓口機能の充実や、機動力を高めるため、本年度から（財）松崎町振興公社に委託し、関係各課と連携し推進している。

子ども農山漁村交流プロジェクト事業を積極的に推進するため、県内外の小学校への誘致活動を行っている。

今後は、このプロジェクト事業指定に向けた申請を行い、体験メニューの開発、指導者研修など積極的に進めたい。

**質問**

グリーンツーリズム専門職員を採用配置しスタートしたが、順調にいったいない。業務、課題が多すぎたのではないか。

**町長** かなりの重圧があったのではと、いま感じている。

**質問**

2月に実施した農業体験ツアーは、これからも行うのか。

**町長**

明るい兆しが見える。これからも継続したい。

**質問**

地域おこし協力隊員の募集を行っているが。

**町長**

棚田の支援を考えている。グリーンツーリズム職員と、町職員との3人体制で、まちづくりを考えている。

### 伝統文化の継承は

### 美つる(むつる)のつくりかた

**質問**

伝統文化などの継承と保護対策は。

**町長**

1月に「しずおか380万人の農山村づくりシンポ

ジユウム」に参加し、「ふじのくに美しい邑（むら）」宣言をした。

将来にわたってすばらしい地域の景観や環境、伝統や文化を守り、誇りを持って地域づくりを行うことによってブランド化を目指したい。

事業を進めることによって、伝統文化などの保護、保全継承に努めたい。

### 地域資源の活用は

### 引き出す人づくり

**質問**

住民の生きがいにつながる地域（区）のイメージアップ、地域資源の活用は。

**町長**

まちづくりの中で、新たな資源の掘り起こし、眠っている資源を活かす、それを引き出すことのできる人づくりによって、地域内が活性化し、自立できることを目指していきたい。

# 臨時会

1月31日(月)の第1回臨時会で、平成21年度漁港施設災害復旧事業工事請負契約の変更が2件提案された。

◎雲見漁港沖防波堤災害復旧工事が32万3千400円の減額で、(株)古川組静岡支店と変更契約を締結した。(変更請負金額7千821万6千600円)

◎石部漁港北防波堤災害復旧工事が35万7千円の

減額で、(株)古川組静岡支店と変更契約を締結した。(変更請負金額1億7千29万1千100円)  
(賛成全員可決)



石部漁港北防波堤

## 全国町村議会議長会 自治功労者表彰 稲葉昭宏議員 受賞



稲葉昭宏 議員

去る2月9日、全国町村議会議長会定期総会において全国町村議会議長会表彰式が行われ、稲葉昭宏議員が在職15年以上の自治功労者表彰を受賞されました。

## 議会のうごき

### 1月

6日	広報編集委員会
13日	広報編集委員会
20日	議会だより90号発行
24・25日	共立湊病院組合議会視察研修
31日	第1回臨時会 議会全員協議会 議員会勉強会

### 2月

4日	賀茂郡町議会議長会
16日	静岡県町村議会議長会
25日	共立湊病院組合議会

### 3月

1日	議会運営委員会 広報編集委員会
4日	議員会勉強会
8、9、10、14、15日(計5日間)	第1回定例会
21日	共立湊病院組合議会全員協議会
22日	西豆衛生プラント組合議会
30日	西伊豆広域消防組合議会
31日	広報編集委員会

#### 発行責任者

議長 一瀬寿一

#### 編集委員長

斉藤重

#### 編集委員

渡辺武 鈴木源一郎  
稲葉昭宏 斉藤重

#### 職員人事異動(4月1日付)

議会事務局長  
馬場 順三(産業建設課課長補佐)  
窓口税務課長  
山本真一郎(議会事務局長)

## 海鳴り

東日本大震災で被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます。

世界一の堤防でも防げない大津波の来襲。想像を絶する規模の地震。連鎖して起こる災害の数々。原発の危機的情報を即座に開示せず、対応が遅れたことは致命的である。計画停電により、企業は大打撃を受けた。被災地には食糧・薬品・医師・燃料・情報の援助が届きにくい。加えて買い占めによるパニックで、さらに物資は被災地へ届かなくなる。安全の壁が次々に崩壊していく。苦しい避難生活を続けている方へ援助できることがある方は、率先してお願いしたい。

今、すべての防災マニュアルを地域で見直す時ではなからうか。また、東海地震発生時に孤立が予想される地区は、食糧などの備えが必要である。  
(議長)